TOAGOSEI

アロンウオール®

超高機能保護被覆工法 | アクリルゴム・外壁化粧防水

JIS A 6021 建築用塗膜防水材 外壁用 アクリルゴム系　JPIA JP0409001

2026年9月版



日本の壁を、強く、キレイに。

東亞合成株式会社

アロンウオール®は建物の長寿命化と環境に配慮した工法です。

きびしい自然環境にさらされる
日本の建造物。
アロンウオール®は、
4つのコンセプトで建物の外壁を
長期間にわたって保護する
環境に配慮した工法です。

新築からリニューアルまで、
幅広いニーズにお応えします。

建物保護

過酷な自然環境から
建物を長期間保護します。





環境配慮

環境に配慮した
工法を提案します。



ハイパフォーマンスで
トータルコストを
低減できます。

美観維持

いつまでも美しい
外観を維持します。

アロンウオール®は、施工 後10年以上経過しても
ひび割れが全く発 生していません。

CP

コスト
パフォーマンス

INDEX

建物保護	P03
美観維持	P05
環境配慮	P06
コストパフォーマンス	P07
アロンウオール塗膜の特性	P09
各種工法と仕上塗料の適性	P10
アロンウオール標準工程フロー	P11
アロンウオール標準工程フロー 国土交通省公共建築改修工事標準仕様書対応工法	P15
標準仕様一覧表	P17
アロン ACC 工法・剥落防止工法	P20
アロン ACC 工法	P21
剥落防止工法	P22
アロンウオール施工標準例	P23
施工品質管理体制	P24
テクニカルデータ	P25
施工事例	P27
アロンウオール工法使用材料	P33

過酷な自然環境から建物を長期間 保護します。

建物保護
アロンウオール®



漏水と鉄筋腐食を防止します。

アクリルゴムの優れた柔軟性により、外壁にコンクリートの乾燥収縮に伴うひび割れが生じた場合でも、塗膜は破断し難く、雨水の浸入を長期間シャットアウトします。これにより、鉄筋の腐食やアルカリ骨材反応によるコンクリートの膨張ひび割れを防ぎます。


大規模集合住宅（千葉県）

コンクリートの劣化を防止します。

1mm厚のアロンウオール塗膜は、コンクリートのかぶり厚さ5mに相当します。アロンウオールは、優れた気密性により、炭酸ガスを遮断し、コンクリートの中性化を防止します。更に、改修工事によりアルカリ（中性化）復元効果などの優れた性能を発揮します。


九州電力 川内原子力発電所（鹿児島県）

ALCパネル外壁の劣化を防止します。

アロンウオールは、炭酸ガス、水分、塩化物イオンの浸入を防ぐので、炭酸化、塩害、凍害などによるALCパネルの劣化を防止します。また、ALCパネルのみならず目地を含めた連続被覆により、目地のシーリング材を保護し、防水性と共に耐久性も向上させます。


紋別暴露試験場（紋別市）

塩害や凍害も防止します。

外部からの塩化物イオンや酸素・水分の浸透を防止し、RC構造物の塩害による早期劣化を防ぎます。また、防水性とコンクリート内部の水分を外部に放出する呼吸性を併せ持っているため、躯体を常に乾燥状態に保ち、凍害防止にも優れた性能を発揮します。

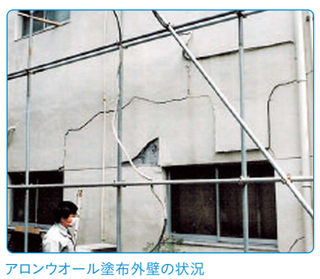

塩害対策暴露センター（沖縄県）

外壁仕上げモルタルなどの剥落を防止します。

アロンウオールは、長期の柔軟性と躯体保護機能により、外壁仕上げモルタルなどの剥離・剥落を防止し、地震などの災害時にも、被害を軽度に抑えることができます。

阪神・淡路大震災時においても被害軽減を実証

アロンウオールは、長期柔軟性と躯体保護機能により、大地震の際にも、下地を含む仕上材の剥落など被害を軽度に抑


アロンウオール塗布外壁の状況


一般的な外壁の状況

優れた耐久性で
美しい外観を長期間維持します。

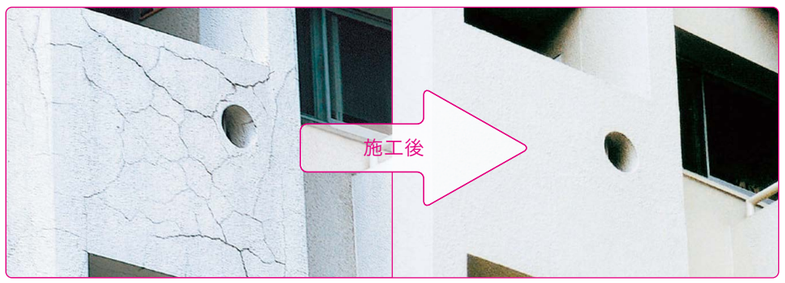
美観維持
アロンウオール®

ひび割れを目立たなく、しかも再発を防ぐ補修方法です。

ひび割れ部の処理に下地挙動緩衝材「アロンウオールSH」を塗布し、アロンウオール®を施工することにより、「長期にわたるひび割れの再発防止」や「ひび割れ部」を目立たなくすることができます。
従来のUカットシール材充填工法は、施工時に騒音や塵埃（石綿を含む場合は石綿粉塵）を発生させ、ひび割れ処理跡が残るばかりでなく、経年によって更に目立つことがあります。

［アロンウオールSHによる補修］

施工前　　アロンウオール®施工後15年経過



［従来工法による補修］

施工後数年経過


（Uカットシール材充填工法）

雨で汚れを洗い流す「低汚染仕様」も可能です。

耐久性に優れたトップコート表面の親水化技術で、塗膜に付着した汚れを雨で徐々に洗い流します。
アロンウオールの優れた柔軟性に、汚れが付着し難いこの「低汚染仕上仕様」を加えて、建物の美しさを長期間維持させることに成功しました。

◎充実した低汚染仕上塗料のラインアップ

水系	アロンHSカラーSi-1000	弱溶剤系 アロンHSカラーSi-3000
	アロン水性スーパーカラーSi	アロンMDカラーU
	アロン水性スーパーカラーF	アロンMDカラーSi

※塗装作業の環境条件や耐久性から選定できます。

◎低汚染仕上塗料の比較（例）

汚染性（屋外暴露1年、暴露地：東京）

溶剤系アクリルウレタン
アロンウオール
FC（DX）Aカラー



水系アクリルシリコン
アロン水性
スーパーカラーSi



弱溶剤系アクリルウレタン
アロンMD
カラーU



弱溶剤系アクリルシリコン
アロンMD
カラーSi



環境に配慮した工法を
提案します。

環境配慮
アロンウオール®

オール水性仕様を提案しています。

東亞合成は、VOC（揮発性有機溶剤）規制など環境配慮に対する取り組みの一環として、オール水性仕様を提案しています。
オール水性仕様は、プライマー、防水材および仕上塗料共に、溶媒に有機溶剤を使用しない水系材料から構成されています。
作業中の作業者、居住者だけでなく近隣にも配慮した地球環境に優しい工法です。


国土交通省近畿地方整備局紀南河川国道事務所（和歌山県）

◎オール水性仕様工程表（例）：STM工法（リップル状仕上げ、リビエール仕上げ）

工程	材料	外観性状	使用量※1（kg/m²）	塗布回数	備考
プライマー	アロン水性マルチプライマー	水性エポキシ樹脂プライマー	※20.1～0.3kg/m²	1～2回塗り	可使時間、乾燥時間、成膜時間などについては、別途標準仕様書をご参照ください。
防水材	アロンコートST	アクリルゴム系防水材	2.0kg/m²	3回塗り	
仕上塗料	アロン水性 スーパーカラーSi	低汚染・水性アクリルシリコン 樹脂エマルション	0.3kg/m²	2回塗り	

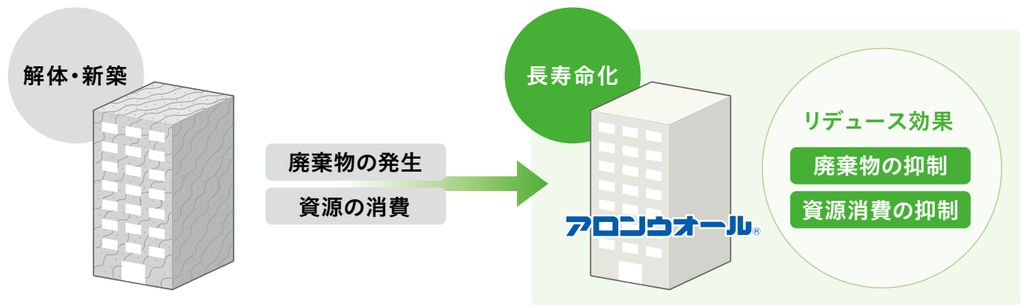
※1：使用量は塗布回数合計での量。
※2：プライマーの使用量、可使時間などは、下地の種類および状態・施工環境などによって異なります。

長寿命化でリデュース（廃棄物の減量）に貢献します。

資源の消費を抑え、廃棄物の発生を抑制することは、地球環境を守り、限りある資源を未来につなげる私たちの使命です。
建物を長期にわたり保護するアロンウオール®は、
リデュース*効果が期待される製品として、環境保護に貢献します。


株式会社ニチレイ・ロジスティックス四国（徳島県）

*リデュース・・・環境負荷や廃棄物の発生を抑制するために無駄・非効率な消費・生産を抑制あるいは行わないこと。



ハイパフォーマンスで
トータルコストを低減します。

CP
コスト
パフォーマンス
アロンウオール®

[外壁改修] 下地処理費を低減できます。

アロンウオールで外壁を改修する際、目地部やサッシ回りの
シーリング材なども外壁と共に一体で被覆するため、既存シーリングの劣化状態によっては、処理費用が低減できる場合があります。
また、アロンウオール塗膜で被覆することにより、シーリング材を保護する効果も期待できます。

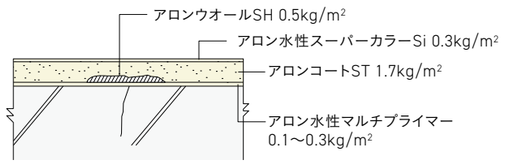


ひび割れ処理費を低減します。

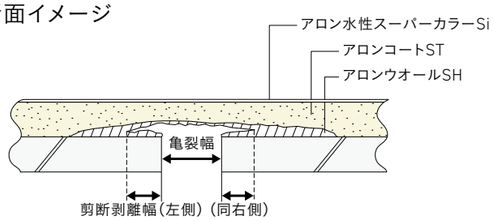
アロンウオール施工時において、ひび割れ処理に
下地挙動緩衝材「アロンウオールSH」を塗布すると、
従来のUカットシール材充填工法で必要とされていた熟練技術や工事日数を削減でき、下地処理費用の低減が可能になります。



◎アロンウオールSH塗布時 断面イメージ



◎アロンウオール®SH塗布後（ひび割れ発生時） 断面イメージ



◎アロンウオールSH塗布によるアロンウオールのひび割れ追従性向上効果

下地変位	アロンウオール®（標準）［アロンウオール®SH塗布なし］	アロンウオール® アロンウオール®SH塗布（0.5kg/m² 約50mm幅で塗布）	備考
単純ゼロスパンテンション	7mm →	20mm	アロンコートST塗膜の破断時（ピンホール）の亀裂幅（ひび割れ追従幅）を示した。
上下変動	12mm →	32mm	
前後変動	15mm →	29mm	

＊本データは、測定値であり、保証値ではありません。

次回改修にはアロンウオールリフレッシュ工法をご提案します。



金沢八景ハイム（アロンウオールリフレッシュ工法 RA-STM工法）

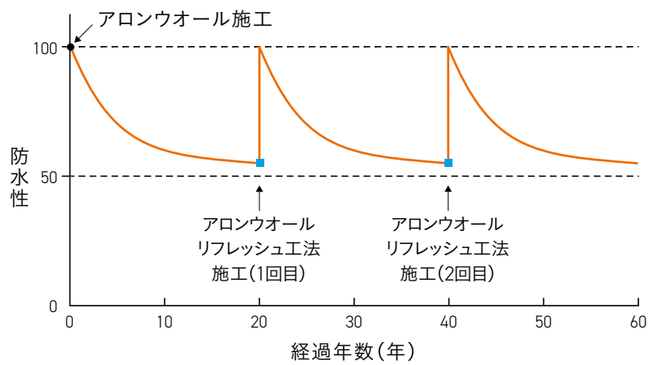


東亞合成本社ビル
（アロンウオールリフレッシュ工法 RB-MS工法）

アロンウオールリフレッシュ専用工法

アロンウオール®の次回改修時には安価な専用塗替え工法（アロンウオールリフレッシュ工法）をご提案します。
アロンウオールリフレッシュ工法とは、超高機能保護被覆材「アロンウオール」施工後15〜20年を目安に塗り替える場合の専用工法です。
化粧防水・躯体保護の各機能を復元させ、建物のライフサイクルコスト低減を図ることができます。

◎メンテナンスモデル（例）



◎アロンウオールリフレッシュ工法の工程例

工程	使用材料	塗装方法	標準使用量（kg/m²） RA-ST工法※1	標準使用量（kg/m²） RA-STM工法※1	標準使用量（kg/m²） RA-NEO工法※1	塗布回数
下地の確認及び清掃			別途			
プライマー	アロン水性マルチプライマー	ローラー塗布	0.1	0.1	—	1回
プライマー兼防水材	アロンコートＳＸ	ローラー塗布	—	—	0.5	1回
防水材	アロンコートＳＴ	ローラー塗布	—	0.7	0.7	1回
	アロンコートＳＴ	ローラー塗布	—	0.7	—	1回
	アロンコートＳＴ	吹付け	1.2	—	—	1回
	アロンコートＳＴ	吹付け	0.2	—	—	1回
仕上材	各種仕上塗料※2	ローラー塗布	0.2〜0.3	0.2〜0.3	0.2〜0.3	1〜2回

※1：アロンウオールリフレッシュ工法の工法名を示す。※2：「特性および各種工法との適合性一覧表」(P.10) をご覧ください。
＊　表中のRA-○○工法とは、リフレッシュ工法の標準工法を示す記号であり、例えば、RA-STM工法はSTM工法専用のリフレッシュ工法という意味ではありません。

工程	使用材料	塗装方法	標準使用量（kg/m²） RB-MS工法※4	塗布回数
下地の確認及び清掃			別途	
プライマー（目地と周辺部）	アロン水性マルチプライマー（黒）※3	ローラー塗布	0.1	1回
目地棒張付け	目地棒	—	（2枚重ね）	—
プライマー	アロン水性マルチプライマー	ローラー塗布	0.1〜0.3	1〜2回
模様材（下塗り）	アロンウオールＭＳ［下塗用］	ローラー塗布	1.5	1回
目地棒上部の離形紙撤去		—	（模様材表面乾燥前）	—
模様材（上塗り）	アロンウオールＭＳ［上塗用］	ローラー塗布	1.3	1回
目地棒撤去・清掃		—	（模様材乾燥後）	
目地タッチアップ（別途）	アロン水性マルチプライマー（黒）※3	筆など	適宜	—
仕上塗料塗布	アロンウオールMS水性クリヤー	ローラー塗布	0.22（2回計）	2回

※3：アロン水性マルチプライマー（16kg/缶）にアロンコート用水性着色剤黒3袋添加
※4：アロンウオールリフレッシュ工法RB-MS工法は化粧機能のみの復元となります。

アロンウオール®塗膜の特性

東亞合成は、外壁化粧防水材に対する時代の要因をいち早くとらえ、業界に先がけて
アクリルゴム系外壁化粧防水「アロンウオール」を開発し、「アクリルゴム系」の概念を打ち立てました。

当社の提唱する「アクリルゴム（アロンコートST）」とは、

① 主材中の固形成分は70%以上

垂直面に1000μm（1mm）近い塗膜厚を形成させるためには、高い固形分濃度が必要です。

② 塗膜中の樹脂量は55%以上

塗膜中の樹脂量が少ないと、伸び性能が低下し、下地ひび割れに対する追従性が低下するばかりか、
気密性に劣り、中性化や塩害などの早期劣化を防止できなくなります。

③ アクリルゴム中の2-エチルヘキシルアクリレート（HA）の量は90%以上

防水材に使用するアクリルゴムは、低温から高温まで高い柔軟性が要求されます。
この様なアクリルゴムを作るには、2-エチルヘキシルアクリレート（HA）というアクリルのモノマーを
90%以上使用（低温の−60℃でも柔軟性を保持）する必要があります。

④ 塗膜中の可塑剤等の抽出成分量は1%以下

可塑剤は塗膜を柔らかくする添加剤で、これを添加すると硬い塗膜でさえ柔らかくすることができます。
しかし、可塑剤の添加により柔軟性を持った塗膜は可塑剤が徐々に逸散してしまうために、
短期間で初期のひび割れ追従性は失われます。

アクリルゴム（アロンコートST）とは

4つの品質規格	防水機能（ひび割れ追従性）	躯体保護機能（劣化要因遮断機能）	耐久性
① 主材中の固形成分は70%以上	◎	○	○
② 塗膜中の樹脂量は55%以上	◎ 耐疲労性	◎	◎
③ アクリルゴム中の2-エチルヘキシルアクリレートの量は90%以上	◎ 低温下の伸び	◎ 遮塩性	○
④ 塗膜中の可塑剤等の抽出成分量は1%以下	○	○	◎

（%は全て重量%）



上記の条件を全て満たして、はじめて長期にわたって優れた下地ひび割れ追従性や、気密性を維持する
外壁化粧防水材となります。これがアクリルゴム系外壁化粧防水「アロンウオール」なのです。

各種工法と仕上塗料の適性

◎各種工法

○：対応　×：非対応　△：準対応　ー：設定なし

工法名		ST工法※2		STM工法※2		NEO工法		MS工法	漆喰工法	ER工法		アロンウオールビン・ネット剥落防止工法	アロンACCビンネット剥落防止工法
仕上り		スター状仕上げ	小粒仕上げ	リップル状仕上げ	リビエール仕上げ	リップル状仕上げ	リビエール仕上げ			リシン仕上げ	ジュラク調仕上げ		
工法特性	オール水性	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	使用する仕上材による
	低汚染仕様	○	○	○	○	○	○	ー	○	ー	ー	○	
	艶消し仕上げ	○	○	○	○	○	○	ー	○	ー	ー	○	
	剥落防止性	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○
用途	新築	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○
	改修	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
規格適合性	JIS A6021（建築用塗膜防水材・外壁用）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	ー
	日本建築学会 建築工事標準仕様書JASS8	○	○	○	○	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
	国交省 公共建築改修工事標準仕様書	○※1	○※1	○※1	○※1	ー	ー	○※1	○※1	○※1	○※1	ー	ー
	国交省 建築工事監理指針	○	○	○	○	ー	ー	○	○	○	○	ー	ー
	国交省 建築改修工事監理指針	○	○	○	○	ー	ー	○	○	○	○	ー	ー

※1：国交省公共建築改修工事標準仕様書へ準拠するには、該当工法の防水材（アロンコートST）標準使用量を0.1kg/m²増やす必要があります。
※2：アロンコートST（防カビ剤入り）と防カビ対応仕上塗料を用いることで防カビ工法となります。

◎特性および各種工法との適合性一覧表

●：標準仕様　○：対応

仕上塗料（トップコート）			標準使用量（工程数）	低汚染性	特殊対応※4		適用工法					
液性	名称	外観性状			防カビ対応	艶消し対応※1	ST工法	STM工法	NEO工法	MS工法	漆喰工法	ER工法
水系	アロン水性スーパーカラーSi	低汚染・水性アクリルシリコン樹脂エマルション塗料	0.15kg/m²×（2回）	○※6	○	○※2	●	●	○		●	
	アロン水性（DX）スーパーカラー	水性アクリルウレタン樹脂エマルション塗料	0.15kg/m²×（2回）			○	○	○	○			
	アロン水性スーパーカラーF［下塗用］	下塗用：水性アクリルシリコン樹脂エマルション	下塗用：0.15kg/m²	○	○		○	○	○		○	
	アロン水性スーパーカラーF［上塗用］	上塗用：フッ素樹脂エマルション	上塗用：0.15kg/m²	○	○	○※2	○	○	○		○	
	アロン水性カラー	水性アクリル樹脂エマルション塗料	0.15kg/m²×（2回）		○	○	○	○	○			
	アロンHSカラーSi-1000※7※8	低汚染・水性アクリルシリコン樹脂エマルション塗料	0.2〜0.25kg/m²×（1回）	○※6	○	○※2	○	○	●			
	アロンコートERリシンベース	水性アクリル樹脂エマルション塗料	-									●※5
	アロンウオールMS水性クリヤー	水系アクリルシリコン樹脂クリヤー塗料（3分艶）	0.11kg/m²×（2回）							●		
弱溶剤系	アロンHSカラーSi-3000※7※8	低汚染・2液反応硬化形弱溶剤系アクリルシリコン樹脂塗料	0.2〜0.25kg/m²×（1回）	○※6				○	○	○		
	アロンMDカラーU	低汚染・2液反応硬化形弱溶剤系アクリルウレタン樹脂塗料	0.15kg/m²×（2回）	○※6		○	○	○	○			
	アロンMDカラーSi	低汚染・2液反応硬化形弱溶剤系アクリルシリコン樹脂塗料	0.15kg/m²×（2回）	○※6		○	○	○	○	○		
溶剤系	アロンウオールFC（DX）Aカラー	2液反応硬化形溶剤系アクリルウレタン樹脂塗料	0.15kg/m²×（2回）			○	○	○	○			
	アロンウオールFC（DX）スーパーカラー	2液反応硬化形溶剤系アクリルウレタン樹脂塗料	0.15kg/m²×（2回）			○※3	○	○	○		○	
	アロンウオールシリコンFC（DX）カラー	2液反応硬化形溶剤系アクリルシリコン樹脂塗料	0.15kg/m²×（2回）				○	○	○			

※1：艶消し程度は、半艶消しに対応します。艶消しの程度をご選択の際は、別途お問い合わせください。
※2：半艶消しと艶消し（低艶あり）が可能です。
※3：アロンウオールFC（DX）スーパーカラーは、漆喰工法のみ全艶消しに対応します。ただし白と黒のみとなります。
※4：アロン水性スーパーカラーSiを除く各仕上塗料は、特殊対応において、防カビと艶消しを同時に行うことはできません。
※5：アロンコートERリシンベースは、標準色B-15〜B-18、特注濃彩色の調色はできません。
※6：以下の場合には低汚染性が発揮されない場合がありますのでご注意ください。
・傾斜壁の下端部、笠木の水切りのない部位などや雨掛かりが少ない部位など
・施工後、塗膜が十分乾燥するまでに結露、降雨に晒された場合など
※7：アロンHSカラーSi-1000、アロンHSカラーSI-3000は1回塗りの仕上塗料ですが、1回塗りとは所定量の仕上塗料を縦横に均一に塗布することです。
※8：アロンHSカラーSi-1000、アロンHSカラーSi-3000は日本建築学会 建築工事標準仕様書JASS8、国交省 建築工事監理指針、国交省 建築工事改修監理指針には対応していません。
＊：各仕上塗料は、調色できない色などがありますので、別途お問合せください。

アロンウオール®標準工程フロー

アロンウオール®

下地処理
（別途工事）

1) 高圧水洗（15MPa以下）にて下地に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。
2) コンクリート打放し下地は、脆弱層を高圧水洗等で除去し、巣穴を充填するために施工範囲の全面にポリマーセメントモルタル（アロンカチオクリート）を施工します。
3) 脆弱な既存塗膜・塗料下地は、サンダー掛け、皮スキ・ケレン棒などにより除去してください。
4) 躯体・下地のひび割れは、あらかじめ補修してください。
5) モルタルの浮き部は、ピンニングや注入により処理してください。
6) 欠損部はアロンカチオクリートF-Kで断面修復してください。
7) 既存シーリング材の脆弱部や、アロンウオールの施工において性能上や納まり上、支障をきたす恐れがあると予想される場合は、シーリング材の打ち替えを行ってください。
8) その他、詳細は弊社標準仕様書に従ってください。

吹付工法

アロンウオール ST工法

清 掃・確 認

プライマー

防 水 材

模 様 材

仕上塗料

アロンコートST 模様吹き（0.5〜0.7kg/m²）

各種仕上塗料

仕上塗料には1回塗りと2回塗りがあります。
「特性および各種工法との適合性一覧表」（P.10）をご参照ください



ST工法
（スター状仕上げ）

アロンウオール ER工法

清 掃・確 認

プライマー

防 水 材

模 様 材

仕上塗料

アロンコートST 模様吹き（0.3〜0.5kg/m²）

各種仕上塗料

仕上塗料には1回塗りと2回塗りがあります。
「特性および各種工法との適合性一覧表」（P.10）をご参照ください



ST工法
（小粒仕上げ）

清 掃・確 認

プライマー

防 水 材

アロンコートST 吹付け（1.7kg/m²）

模 様 材

アロン水性マルチプライマー（0.08kg/m²）

仕上塗料

アロンコートERリシン（リシン配合）（1.5kg/m²）

各種仕上塗料

仕上塗料には1回塗りと2回塗りがあります。
「特性および各種工法との適合性一覧表」（P.10）をご参照ください



ER工法
（リシン仕上げ）

清 掃・確 認

プライマー

防 水 材

模 様 材

仕上塗料

アロンコートERリシン（ジュラク配合）（1.5kg/m²）

各種仕上塗料

仕上塗料には1回塗りと2回塗りがあります。
「特性および各種工法との適合性一覧表」（P.10）をご参照ください



ER工法
（ジュラク調仕上げ）

アロンウオール 漆喰工法

清 掃・確 認

プライマー

防 水 材

模 様 材

仕上塗料

アロンウオール漆喰こて塗り（0.8kg/m²）

アロンウオール漆喰こて塗り（0.7kg/m²）

アロン水性スーパーカラーSi艶消し吹付け（0.15kg/m²）

アロン水性スーパーカラーSi艶消し吹付け（0.15kg/m²）



漆喰工法
（漆喰調仕上げ）

アロンウオール MS工法

清 掃・確 認

プライマー

防 水 材

模 様 材

仕上塗料

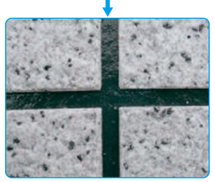
アロン水性マルチプライマー塗布（0.1kg/m²）

アロンウオールMS［下塗用］塗布（1.5kg/m²）

アロンウオールMS［上塗用］塗布または吹付け（1.3または1.5kg/m²）

アロンMS水性クリヤー塗布（0.11kg/m²）

アロンMS水性クリヤー塗布（0.11kg/m²）



MS工法
（石模様仕上げ）

ローラー塗布工法

アロンウオール STM工法

（リップル状仕上げ）（リビエール仕上げ）

清 掃・確 認

プライマー

防 水 材

模 様 材

仕上塗料

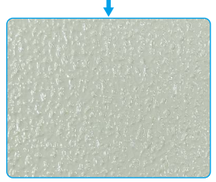
アロンコートST塗布（0.5kg/m²）

アロンコートST塗布（0.8kg/m²）

アロンコートST塗布（0.7kg/m²）

各種仕上塗料

仕上塗料には1回塗りと2回塗りがあります。
「特性および各種工法との適合性一覧表」（P.10）をご参照ください



STM工法、NEO工法
（リップル状仕上げ）

ローラー塗布工法
（改修専用工法）

アロンウオール NEO工法

（リップル状仕上げ）（リビエール仕上げ）

清 掃・確 認

プライマー

防 水 材

アロンコートSX塗布（0.7kg/m²）

模 様 材

アロンコートST塗布（0.8kg/m²）

仕上塗料

各種仕上塗料

仕上塗料には1回塗りと2回塗りがあります。
「特性および各種工法との適合性一覧表」（P.10）をご参照ください



STM工法、NEO工法
（リビエール仕上げ）

◎標準色見本

＊カラーについては、「標準色カラーカード（18色）」の中からお選び下さい。標準色にない色をご指定の際は、日本塗料工業会の標準色見本帳の色番あるいは現物見本によりご相談ください。
＊一部の仕上塗料（トップコート）では、標準色に対応できないものもありますので、弊社営業までお問い合わせください。
＊この色見本は印刷のため現物とは違うことがあり、実際はカラーカードや見本板でご確認ください。

B-1
B-2
B-3
B-4
B-5
B-6
B-7
B-8
B-9
B-10
B-11
B-12
B-13
B-14
B-15
B-16
B-17
B-18

アロンウオール®標準工程フロー

アロンウオール

◎標準色見本

＊カラーについては、「標準色カラーカード(18色)」の中からお選び下さい。標準色にない色をご指定の際は、日本塗料工業会の標準色見本帳の色番あるいは現物見本によりご相談ください。
＊一部の仕上塗料(トップコート)では、標準色に対応できないものもありますので、弊社営業までお問い合わせください。
＊この色見本は印刷のため現物とは違うことがあり、実際はカラーカードや見本板でご確認ください。

下地処理(別途工事)

1) 高圧水洗(15Mpa以下)にて、コンクリート打ち放し下地の脆弱層、付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。
2) 既存アロンウオールの付着が弱く、その上からアロンウオールリフレッシュ工法が施工不能な場合は水洗いと平行して脆弱部の除去作業を行う。
3) 脆弱な既存塗膜・塗料下地は、サンダー掛け、皮スキ・ケレン棒などにより除去してください。
4) 躯体・下地のひび割れは、あらかじめ補修してください。
5) モルタルの浮き部は、ピンニングや注入により処理してください。
6) 欠損部はアロンカチオクリートF-Kで断面修復してください。
7) 既存シーリング材の脆弱部や、アロンウオールの施工において性能上や納まり上、支障をきたす恐れがあると予想される場合は、シーリング材の打ち替えを行ってください。
8) その他、詳細は弊社標準仕様書に従ってください。

アロンウオール 防カビ工法

ローラー塗り / 吹付け

プライマー
アロン水性マルチプライマー塗布(0.1kg/m²)

防水材(模様材)
- アロンコートST(防カビ) 塗布(中毛ローラー) (0.5kg/m²)
- アロンコートST(防カビ) 塗布(中毛ローラー) (0.8kg/m²)
- アロンコートST(防カビ) 塗布(砂骨ローラー) (0.7kg/m²)
- アロンコートST(防カビ) 吹付け (1.7kg/m²)
- アロンコートST(防カビ) 模様吹き (0.5kg/m²)

仕上塗料
各種仕上塗料
仕上塗料には1回塗りと2回塗りの仕上塗料があります。
「特性および各種工法との適合性一覧表」(P.10)をご参照ください。

(リビエール仕上げ) / **ST工法** (スター状仕上げ) / **ST工法** (小粒仕上げ)

アロンウオール ジョリパット工法

ローラー塗り / 吹付け

プライマー
アロン水性マルチプライマー塗布(0.1～0.3kg/m²)

防水材(模様材)
- アロンコートST 塗布 (0.5kg/m²)
- アロンコートST 吹付け (1.7kg/m²)
- アロンコートST 塗布 (0.6kg/m²)
- アロンコートST 塗布 (0.6kg/m²)

アロン水性マルチプライマー(0.1～0.3kg/m²)塗布

装飾性塗材
- ジョリパットシーラーJS-560 塗布または吹付け
- ジョリパットネオJQ-650またはJQ-700 塗布または吹付け

＊装飾性塗材の施工はアイカ工業株式会社発行のジョリパットネオ施工の手引きに従ってください。

リフレッシュ工法

RA-ST工法 / **RA-STM工法** / **RA-NEO工法** / **RB-MS工法**

確認・清掃
下地の清掃　および確認

プライマー
アロン水性マルチプライマー塗布(0.1kg/m²)

目地部のみ
- アロン水性マルチプライマー(黒)塗布 (0.1kg/m²)
- 目地棒張付け(2段重ね)

防水材
- アロンコートST 吹付け (1.2kg/m²)
- アロンコートST 塗布 (0.7kg/m²)
- アロンコートSX 塗布 (0.5kg/m²)
- アロン水性マルチプライマー(黒)塗布 (0.1kg/m²)

模様材
- アロンコートST 散らし吹き (0.2kg/m²)
- アロンコートST 塗布(中毛ローラー) (0.7kg/m²)
- アロンコートST 塗布(中毛ローラー) (0.7kg/m²)
- アロンウオールMS[下塗用] 塗布・目地棒離型紙剥離 (1.5kg/m²)
- アロンウオールMS[上塗用] 塗布または吹付け (1.3～1.5kg/m²)

仕上塗料
各種仕上塗料
仕上塗料には1回塗りと2回塗りがあります。
「特性および各種工法との適合性一覧表」(P.10)をご参照ください

- アロンウオールMS 水性クリヤー塗布 (0.11kg/m²)
- アロンウオールMS 水性クリヤー塗布 (0.11kg/m²)

RA ST工法 (スター状仕上げ) / **RA ST工法** (小粒仕上げ) / **RA STM工法、NEO工法** (リップル状仕上げ) / **RA STM工法、NEO工法** (リビエール仕上げ) / **RB MS工法** (石模様仕上げ)

B-1 B-2 B-3 B-4 B-5 B-6 B-7 B-8 B-9 B-10 B-11 B-12 B-13 B-14 B-15 B-16 B-17 B-18

アロンウオール®標準工程フロー　国土交通省公共建築改修工事　標準仕様書対応工法

アロンウオール

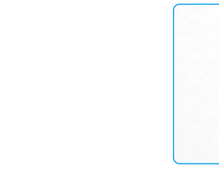
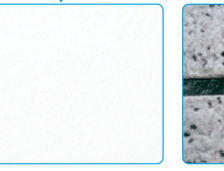
◎国土交通省公共建築改修工事標準仕様書に準拠する場合、仕様書で規定されている防水材の膜厚補正を行うため、アロンコートSTの使用量を0.1kg/m² 増やします。
工法名は標準工法の名称を用いますが、区別して表記する必要のある場合は、工法名の後に（K）を記載します。例：アロンウオールST（K）工法

標準仕様書の表記						
工法	吹付け					ローラー
仕上げの形状*1	凹凸状					ゆず肌状・さざ波状*2
仕上げの種類*3	砂壁状	じゅらく状		その他		

*1 吹付工法の凸部処理仕上げはアロンウオールにはありません。
*2 一般的に砂骨材ローラー仕上げを「ゆず肌状」、「さざ波状」と称しますが、アロンウオールは砂骨材ローラー仕上げを「リップル状」、中毛ローラー仕上げを「リビエール」と称しています。
*3 公共建築改修工事標準仕様書（令和7年版）表4.7.1の（注）7に記載される仕上げの種類

下地処理（別途工事）

1) 高圧水洗（15MPa以下）にて下地に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。
2) コンクリート打放し下地は、脆弱層を高圧水洗等で除去し、巣穴を充填するために施工範囲の全面にポリマーセメントモルタル（アロンカチオクリート）を施工します。
3) 脆弱な既存塗膜・塗料下地は、サンダー掛け、皮スキ・ケレン棒などにより除去してください。
4) 躯体・下地のひび割れは、あらかじめ補修してください。
5) モルタルの浮き部は、ピンニングや注入により処理してください。
6) 欠損部はアロンカチオクリートF-Kで断面修復してください。
7) 既存シーリング材の脆弱部や、アロンウオールの施工において性能上や納まり上、支障をきたす恐れがあると予想される場合は、シーリング材の打ち替えを行ってください。
8) その他、詳細は弊社標準仕様書に従ってください。

	ST工法	ER工法	漆喰工法	MS工法	STM工法	
					（リップル状仕上げ）	（リビエール仕上げ）
清掃・確認	下地の清掃　および確認					
プライマー	アロン水性マルチプライマー（0.1～0.3kg/m²）　または アロン強化プライマー（0.1～0.5kg/m²）塗布					
防水材	アロンコートST 吹付け（1.8kg/m²）				アロンコートST塗布（0.6kg/m²） アロンコートST塗布（0.8kg/m²） アロンコートST塗布（0.7kg/m²）	
模様材	アロンコートST 模様吹き（0.5～0.7kg/m²）	アロンコートST 模様吹き（0.3～0.5kg/m²）	アロン水性マルチプライマー（0.08kg/m²） アロンコートERリシン（リシン配合）（1.5kg/m²）	アロンコートERリシン（ジュラク配合）（1.5kg/m²）		
仕上塗料	各種仕上塗料 仕上塗料には1回塗りと2回塗りがあります。 「特性および各種工法との適合性一覧表」（P.10）をご参照ください		アロンウオール漆喰こて塗り（0.8kg/m²） アロンウオール漆喰こて塗り（0.7kg/m²） アロン水性スーパーカラーSi艶消し吹付け（0.15kg/m²） アロン水性スーパーカラーSi艶消し吹付け（0.15kg/m²）	アロン水性マルチプライマー塗布（0.1kg/m²） アロンウオールMS［下塗用］塗布（1.5kg/m²） アロンウオールMS［上塗用］塗布または吹付け（1.3または1.5kg/m²） アロンMS水性クリヤー塗布（0.11kg/m²） アロンMS水性クリヤー塗布（0.11kg/m²）	各種仕上塗料 仕上塗料には1回塗りと2回塗りがあります。 「特性および各種工法との適合性一覧表」（P.10）をご参照ください	
						
	ST工法（スター状仕上げ）	**ST工法**（小粒仕上げ）	**ER工法**（リシン仕上げ）	**ER工法**（ジュラク調仕上げ）	**漆喰工法**（漆喰調仕上げ）	**MS工法**（石模様仕上げ）	**STM工法**（リップル状仕上げ）	**STM工法**（リビエール仕上げ）

◎標準色見本

＊カラーについては、「標準色カラーカード（18色）」の中からお選び下さい。標準色にない色をご指定の際は、日本塗料工業会の標準色見本帳の色番あるいは現物見本によりご相談ください。
＊一部の仕上塗料（トップコート）では、標準色に対応できないものもありますので、弊社営業までお問い合わせください。
＊この色見本は印刷のため現物とは違うことがあり、実際はカラーカードや見本板でご確認ください。

B-1
B-2
B-3
B-4
B-5
B-6
B-7
B-8
B-9
B-10
B-11
B-12
B-13
B-14
B-15
B-16
B-17
B-18

標準仕様一覧表

アロンウオール®



工程	使用材料	塗装方法	標準使用量(kg/m²)	塗布回数
下地処理	別途			
下地の確認および清掃				
プライマー	アロン水性マルチプライマー	ローラー塗布	0.1〜0.3	1〜2回
防水材	アロンコートST	吹付け	1.7*	1〜2回※2
模様材	アロンコートST	模様吹き(吹付け)	0.5	1回
仕上塗料	各種仕上塗料※1 (1回塗りと2回塗りがあります。)	吹付けまたは ローラー塗布	※1	※1

工程見本:ST工法(スター状仕上げ)　　＊公共建築改修工事標準仕様書に準拠する場合は1.8kg/m²となります。

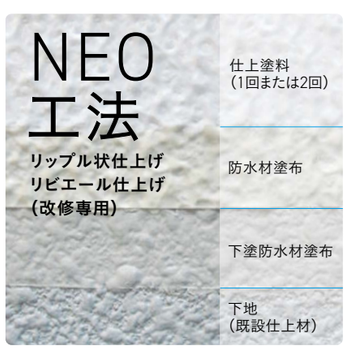
【ST工法での注意事項】※1:「特性および各種工法との適合性一覧表」(P.10)をご参照ください。※2:新築の場合、2回に分けて吹付けると平滑に仕上ります。◎アロンコートSTの模様吹き(吹付け)において、模様に応じて使用量が異なります(0.3〜0.7kg/m²)。◎アロンコートSTの模様吹き(吹付け)において、乾燥条件が良い場合は吹きつぎができるので、アロンコートST 0.2kg/m²を全体に吹付け吹きつぎを消します。



工程	使用材料	塗装方法	標準使用量(kg/m²)	塗布回数
下地処理	別途			
下地の確認および清掃				
プライマー	アロン水性マルチプライマー	ローラー塗布	0.1〜0.3	1〜2回
防水材	アロンコートST	ローラー塗布	0.5*	1回
	アロンコートST	ローラー塗布	0.8	1回
	アロンコートST	模様塗り(ローラー塗布)	0.7	1回
仕上塗料	各種仕上塗料※1 (1回塗りと2回塗りがあります。)	ローラー塗布	※1	※1

工程見本:STM工法(リップル状仕上げ)　　＊公共建築改修工事標準仕様書に準拠する場合は0.6kg/m²となります。

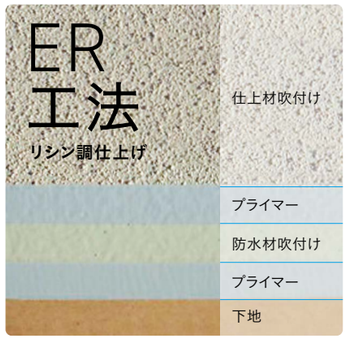
【STM工法での注意事項】※1:「特性および各種工法との適合性一覧表」(P.10)をご参照ください。◎アロンコートSTは、アロンウオールSTM工法用添加剤を適量添加(別途標準仕様書をご参照ください)した後、ウールローラー(中毛)[リビエール仕上げ]あるいは砂骨材ローラー[リップル状仕上げ]を用いて塗布します。



工程	使用材料	塗装方法	標準使用量(kg/m²)	塗布回数
下地処理	別途			
下地の確認および清掃				
下塗防水材	アロンコートSX	ローラー塗布	0.7	1回
防水材	アロンコートST	ローラー塗布	0.8	1回
仕上材	各種仕上塗料※1 (1回塗りと2回塗りがあります。)	ローラー塗布	※1	※1

工程見本:NEO工法(リップル状仕上げ)

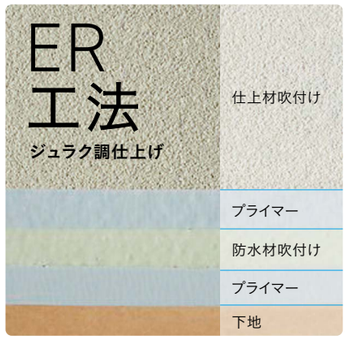
【NEO工法での注意事項】※1:「特性および各種工法との適合性一覧表」(P.10)をご参照ください。◎サッシ回りや開口部などの金属下地、モルタル部、コンクリート露出部、断面修復部、シーリング材(種類による)、セメント系材料への施工には、別途プライマーが必要です。◎アロンコートSTは、アロンウオールSTM工法用添加剤を適量添加(別途標準仕様書をご参照ください)した後、ウールローラー(中毛)[リビエール仕上げ]あるいは砂骨材ローラー[リップル状仕上げ]を用いて塗布します。◎出隅入隅などの膜厚が薄くなり易い部位、ALCパネルやPC部材の継手目地部(シーリング材打設部)などの防水上重要な部位、ひび割れが発生し易い部位、下地の動きが激しい部位などにはアロンコート®SXを、開口部(サッシ)回り、貫通部回り、手摺基部、スイッチボックスなどの設備との取り合いなどにはアロンコートSX、またはアロンコートSTを刷毛を用いて0.5〜1.0kg/m²程度すり込み塗りまたは増塗りします。



工程	使用材料	塗装方法	標準使用量(kg/m²)	塗布回数
下地処理	別途			
下地の確認および清掃				
プライマー	アロン水性マルチプライマー	ローラー塗布	0.1〜0.3	1〜2回
防水材	アロンコートST	吹付け	1.7*	1回
プライマー	アロン水性マルチプライマー	ローラー塗布	0.08	1〜2回
模様材	アロンコートERリシンベース	吹付け	1.5	1回
	寒水砂 (5厘目および3厘目、市販品)			

工程見本:ER工法(リシン調仕上げ)　　＊公共建築改修工事標準仕様書に準拠する場合は1.8kg/m²となります。

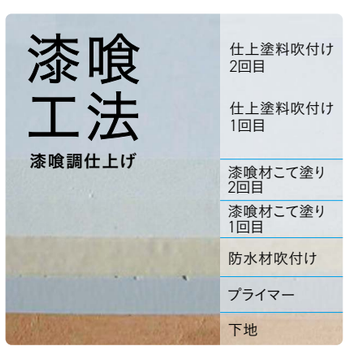
【ER工法(リシン調仕上げ)での注意事項】◎模様材の配合は、アロンコートERリシンベース20kg、5厘目の寒水砂12.5kg、3厘目の寒水砂12.5kgとなります。水希釈はしないか、極わずか(最大1ℓ)となります。◎骨材の種類によって色調が変化するため、施工現場で色調の確認をした上で施工してください。◎アロンコートERリシンベースは、標準色B-15〜B-18、特注濃彩色の調色はできません。



工程	使用材料	塗装方法	標準使用量(kg/m²)	塗布回数
下地処理	別途			
下地の確認および清掃				
プライマー	アロン水性マルチプライマー	ローラー塗布	0.1〜0.3	1〜2回
防水材	アロンコートST	吹付け	1.7*	1回
プライマー	アロン水性マルチプライマー	ローラー塗布	0.08	1〜2回
模様材	アロンコートERリシンベース	吹付け	1.5	1回
	6号けい砂(市販品)			

工程見本:ER工法(ジュラク調仕上げ)　　＊公共建築改修工事標準仕様書に準拠する場合は1.8kg/m²となります。

【ER工法(ジュラク調仕上げ)での注意事項】◎模様材の配合は、アロンコートERリシンベース20kg、6号けい砂40kgとなります。水希釈はしないか、極わずか(最大1ℓ)となります。◎骨材の種類によって色調が変化するため、施工現場で色調の確認をした上で施工してください。◎アロンコートERリシンベースは、標準色B-15〜B-18、特注濃彩色の調色はできません。



工程	使用材料	塗装方法	標準使用量(kg/m²)	塗布回数
下地処理	別途			
下地の確認および清掃				
プライマー	アロン水性マルチプライマー	ローラー塗布	0.1〜0.3	1〜2回
防水材	アロンコートST	吹付け	1.7*	1回
模様材	アロンウオール漆喰ベース アロンウオール漆喰フィラー	こて塗り	0.8 (ベース0.27、フィラー0.53)	1回
	アロンウオール漆喰ベース アロンウオール漆喰フィラー	こて塗り	0.7 (ベース0.23、フィラー0.47)	1回
仕上塗料	アロン水性スーパーカラーSi艶消し	吹付け	0.15	1回
	アロン水性スーパーカラーSi艶消し	吹付け	0.15	1回

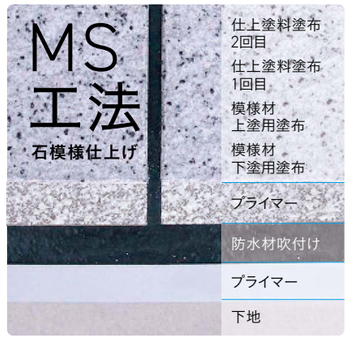
工程見本:漆喰工法(漆喰調仕上げ)

＊公共建築改修工事標準仕様書に準拠する場合は1.8kg/m²となります。

【漆喰工法での注意事項】◎仕上塗料は、白または黒のみとなります。

標準仕様一覧表

アロンウオール



工程見本：MS工法（石模様仕上げ）

工程	使用材料	塗装方法	標準使用量（kg/m²）	塗布回数
下地処理	別途			
下地の確認および清掃				
プライマー	アロン水性マルチプライマー	ローラー塗布	0.1～0.3※2	1～2回
防水材	アロンコートST黒	吹付け	1.7※1	1～2回
目地割付け、墨出し、目地棒張付け	目地棒［幅7又は25mm］目地長さは現場による（本/m²）			
プライマー	アロン水性マルチプライマー	ローラー塗布	0.1	1回
模様材 下塗用（各色）	アロンウオールMS［下塗用］	ローラー塗布又は吹付け	1.5	1回
目地棒上部離型紙撤去	模様材表面が乾燥前に撤去する			
模様材 上塗用（各色）	アロンウオールMS［上塗用］	ローラー塗布又は吹付け	ローラー塗布：1.3 吹付け：1.5	1回
目地棒撤去、目地清掃	模様材表面が乾燥後に撤去する			
仕上塗料塗布	アロンウオールMS水性クリヤー	ローラー塗布	0.11	1回
仕上塗料塗布	アロンウオールMS水性クリヤー	ローラー塗布	0.11	1回

【MS工法の注意事項】※1：公共建築改修工事仕様書に準拠する場合は1.8kg/m²となります。
※2：プライマーの使用量、乾燥・硬化時間などは下地の種類、状態および施工環境によって異なります。
別途標準仕様書をご参照ください。

模様材［下塗用］・［上塗用］の標準色と色番号



W-1　W-2　W-3　W-4　W-5

◎各工法共通の注意事項

i）各使用材料の可使時間、乾燥時間、成膜時間などについては、別途標準仕様書をご参照ください。
ii）各使用材料の実際の調合および施工は、使用者の責任において別途テクニカルインフォメーションなどに従い行ってください。
iii）各種工法の使用材料と使用量（kg/m²）には、希釈水や各仕上塗料専用希釈液の量は含みません。
iv）降雨、降雪が予想される時、気温5℃以下の場合、施工を中止してください。
v）高圧水洗にて旧塗膜に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。
vi）旧塗膜に脆弱部がある場合、サンダーおよび皮スキ・ケレン棒などを用いて除去してください。
vii）プライマーの使用量、乾燥時間などは、下地の種類および状態・施工環境によって異なります。別途標準仕様書をご参照ください。
viii）改修において、下地の種類や状態によって、アロン強化プライマーを使用する場合があります。
ix）各種仕上塗料（MS工法、漆喰工法を除く）においては、必ず見本板などで指定色をご確認ください。
x）模様の凹凸パターンは施工時だけでなく下地の凹凸の影響を受ける場合があります。

アロンACC工法と各種剥落防止工法

アロンウオール

アロンACC工法

アロン ACC 工法とは、アロンウオールの工事の際に用いる下地処理工法群の名称で、次の特長があります。
①下地調整や断面修復にカチオン性アクリルポリマーセメントモルタル「アロンカチオクリート」を用います。
②ひび割れ処理に、ひび割れ挙動への追従性に優れた下地挙動緩衝材「アロンウオール SH」を塗布します。
③下地の浮き部処理におけるピンニング本数を減じる提案をします。



不陸調整作業（アロンカチオクリート）

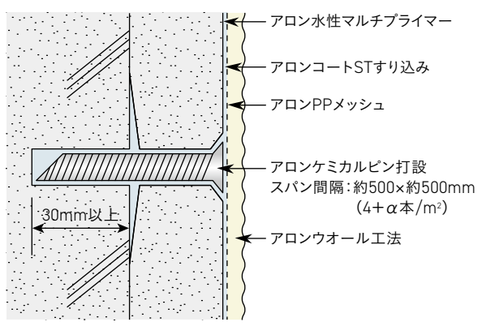


ひび割れ処理作業（アロンウオールSH）

剥落防止工法

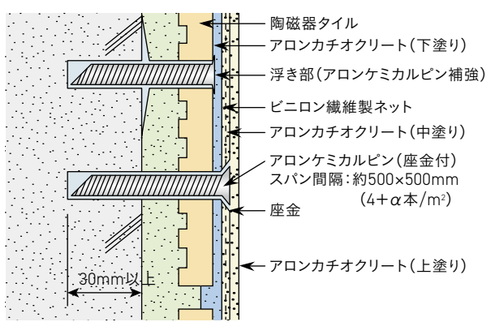
アロンウオール・ピン・ネット剥落防止工法

アロンケミカルピン打設、アクリルゴム塗膜防水材およびポリプロピレン繊維製ネットによる工法です。剥落防止と同時に、外壁の化粧や防水、更には、各種の躯体保護にも有効です。



アロンACCピン・ネット剥落防止工法

アロンカチクリートおよび耐アルカリ性合成繊維（ビニロン）製ネット張りによる工法です。既存陶磁器質タイルや仕上げモルタル類の剥落防止に有効です。



RC構造物やPCa部材の外壁における既存の陶磁器質タイルや仕上げモルタル類の剥落防止や庇の補修、更には、外階段、張出部の上げ裏、一般壁、柱梁、天井などのモルタル類の剥落防止に適用されます。（ただし、躯体の破壊が懸念される場合やアロンケミカルピンの固定が困難な場合は適用できません。）

アロンACC工法

アロンウオール®

アロンACC工法標準工程

◎コンクリート・モルタル下地

下地状況、判定基準 → 下地処理 → 塗膜防水

◎全面処理

表面劣化

軽微		ワイヤーブラシ掛け 高圧水洗	
顕著	はつり、ケレン（サンダー掛け）	（高圧）水洗	**アロンカチオクリート** による面修正
高圧水洗不可		ワイヤーブラシ掛け エアー吹き	**アロン強化プライマー** 塗布

表面付着物・汚れ

撥水剤塗布下地	プライマー付着性の確認 OK		高圧水洗	
エフロレッセンス（白華）	OUT	サンダー掛け除去	（高圧）水洗	**アロンカチオクリート** による面修正
汚れ カビ、苔類(*)			高圧水洗	＊アロンウオール防カビ工法適用
油脂類			シンナー払拭または中性洗剤洗浄	
	軽微			
	頑固	サンダー掛け除去	（高圧）水洗	**アロンカチオクリート** による面修正

表面凸凹等

段差、目違い、凸凹豆板（粗面）		はつり、ケレン（サンダー掛け）	（高圧）水洗	**アロンカチオクリート** による面修正
巣穴	浅い φ3mm未満		高圧水洗	**アロンカチオクリート** 吹付けゴムコテしごき
	深い φ3mm以上			**アロンカチオクリート** による面修正

◎部分的処理

欠損・爆裂

単なる欠落	ケレン ワイヤーブラシ掛け	（高圧）水洗		**アロンカチオクリートF-K** による断面修復
鉄筋の発錆びによる爆裂、錆汁流下	コンクリートはつり取り、ケレン	（高圧）水洗	**鉄筋の防錆処理 アロンカチオクリートF-3塗布**	**アロンカチオクリートF-K** による断面修復

ひび割れ

動きの比較的小さいもの	ワイヤーブラシ掛け 清掃	（高圧）水洗	**アロンカチオクリート** すり込み	**アロンウオール工法**の中で **アロンウオールSH**塗布
密封（シール）を要するもの		（高圧）水洗	エポキシ樹脂注入	

浮き

顕著		はつり、ケレン	（高圧）水洗	**アロンカチオクリート** による修復
軽微	**アロンケミカルピン**によるピンニング またはエポキシ樹脂注入		（高圧）水洗	

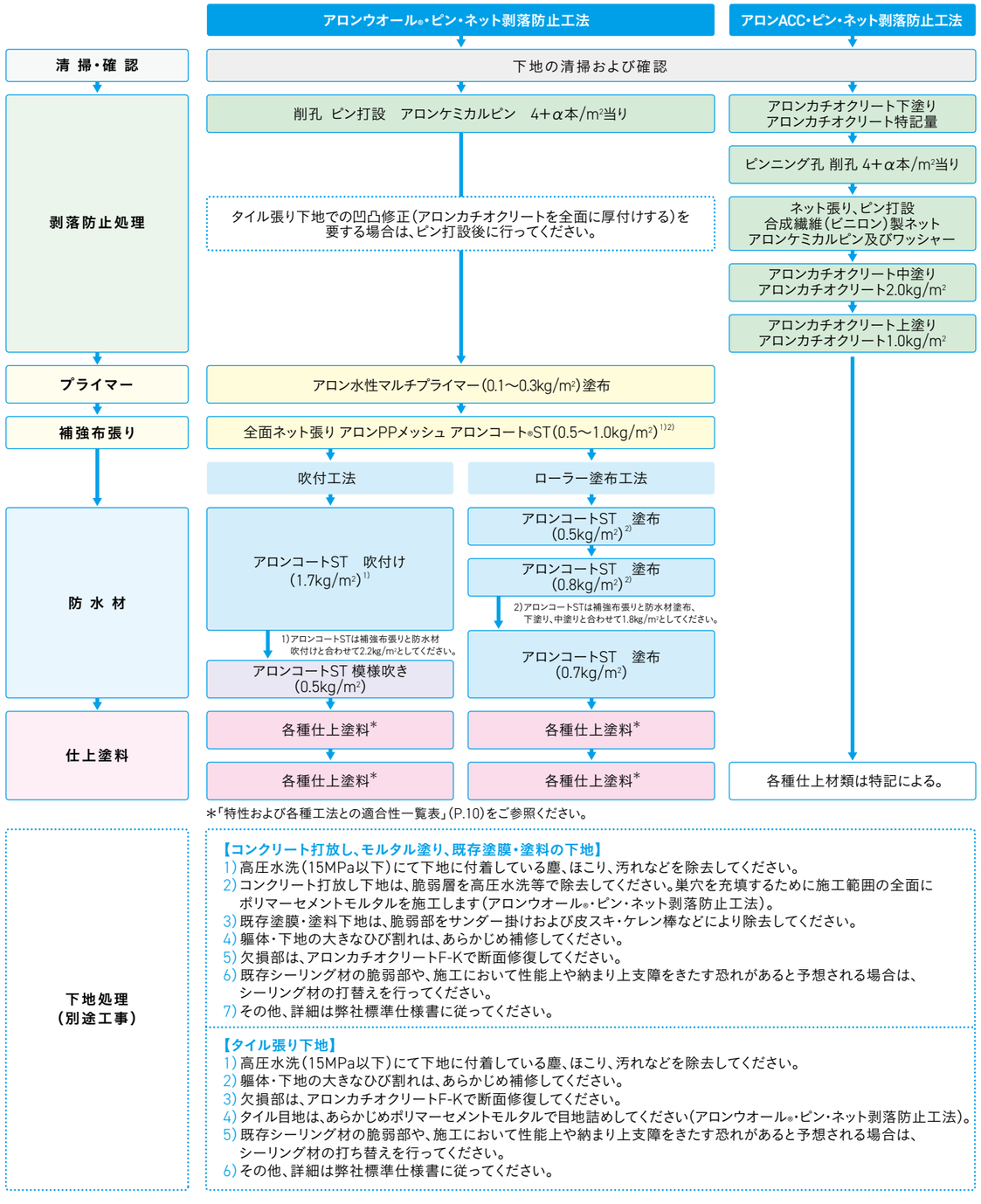
シーリング材

劣化部	劣化部撤去	（高圧）水洗	**アロンシーラントPU-1N** 塗布	
健全				プリード防止処理

アロンウオール® 標準工法

剥落防止工法

アロンウオール®



＊「特性および各種工法との適合性一覧表」(P.10)をご参照ください。

下地処理（別途工事）

【コンクリート打放し、モルタル塗り、既存塗膜・塗料の下地】

1) 高圧水洗（15MPa以下）にて下地に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。
2) コンクリート打放し下地は、脆弱層を高圧水洗等で除去してください。巣穴を充填するために施工範囲の全面にポリマーセメントモルタルを施工します（アロンウオール®・ピン・ネット剥落防止工法）。
3) 既存塗膜・塗料下地は、脆弱部をサンダー掛けおよび皮スキ・ケレン棒などにより除去してください。
4) 軀体・下地の大きなひび割れは、あらかじめ補修してください。
5) 欠損部は、アロンカチオクリートF-Kで断面修復してください。
6) 既存シーリング材の脆弱部や、施工において性能上や納まり上支障をきたす恐れがあると予想される場合は、シーリング材の打替えを行ってください。
7) その他、詳細は弊社標準仕様書に従ってください。

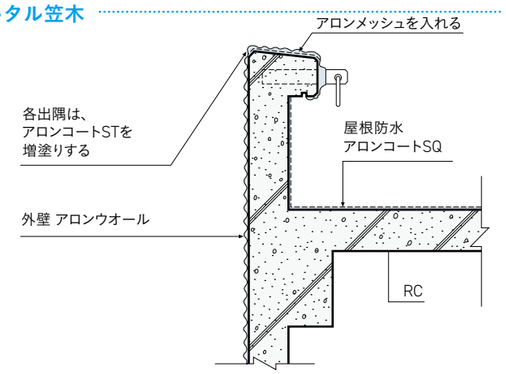
【タイル張り下地】

1) 高圧水洗（15MPa以下）にて下地に付着している塵、ほこり、汚れなどを除去してください。
2) 軀体・下地の大きなひび割れは、あらかじめ補修してください。
3) 欠損部は、アロンカチオクリートF-Kで断面修復してください。
4) タイル目地は、あらかじめポリマーセメントモルタルで目地詰めしてください（アロンウオール®・ピン・ネット剥落防止工法）。
5) 既存シーリング材の脆弱部や、施工において性能上や納まり上支障をきたす恐れがあると予想される場合は、シーリング材の打ち替えを行ってください。
6) その他、詳細は弊社標準仕様書に従ってください。

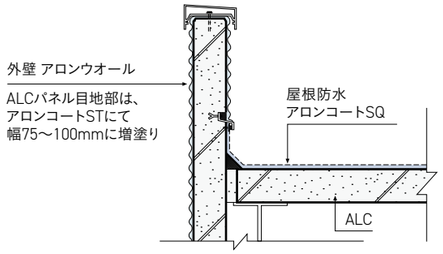
アロンウオール施工標準例

◎パラペット回り設計例

モルタル笠木

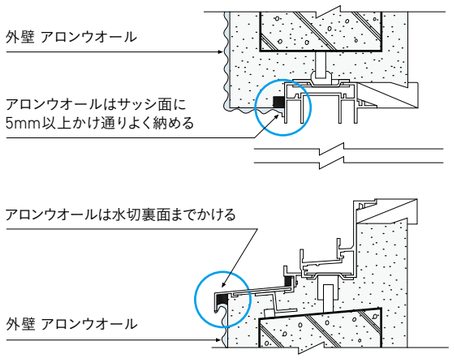


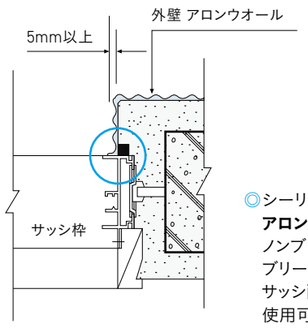
金属笠木



◎サッシ回り設計例

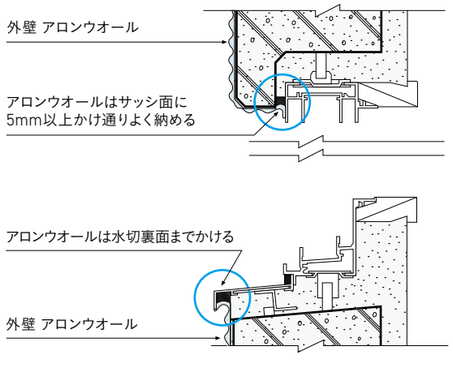
鉄筋コンクリート納まり

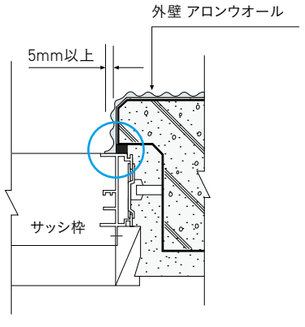




◎シーリング材は、ノンブリードタイプの**アロンシーラントPU-1N**を使用する。
ノンブリード型でない場合は、
ブリード防止処理を行う。
サッシ面には、アロン強化プライマーも
使用可能。

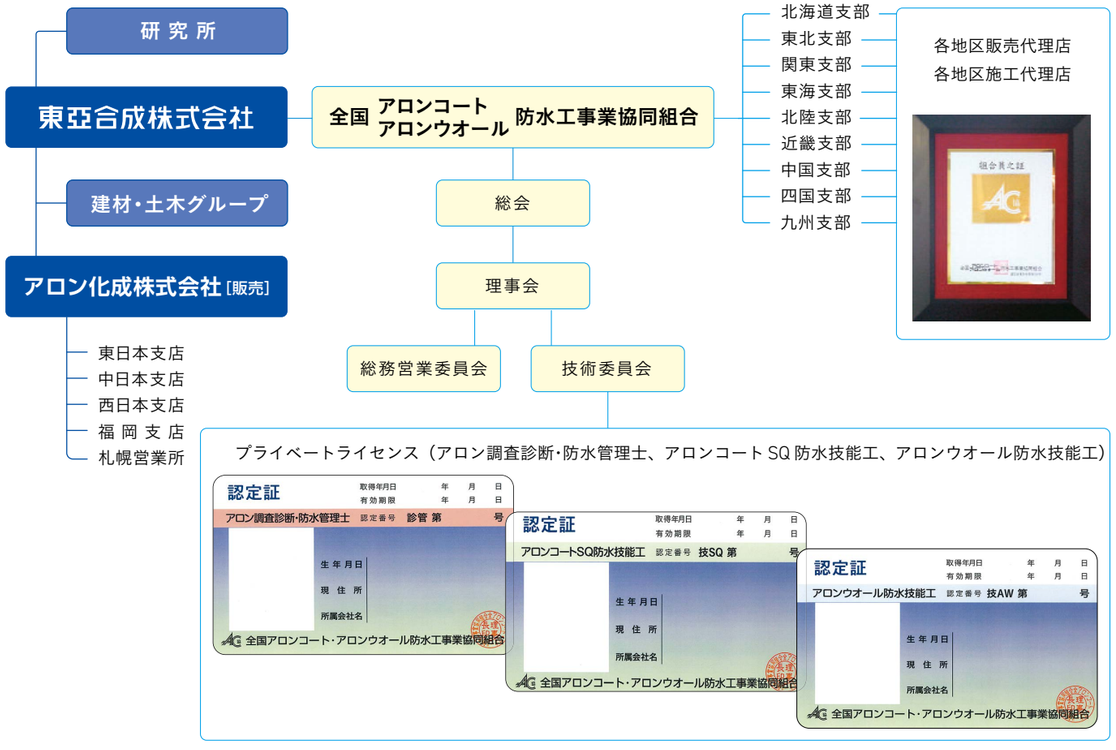
鉄筋コンクリート納まり（外部コンクリート打放し）





責任施工システム

アロンコート・アロンウオールの受注・施工は、全国9支部256社（令和8年7月）により
組織された「全国アロンコート・アロンウオール防水工事業協同組合員」がその任に当たります。
アロンウオールの素材を十二分に研修理解し、施工技術をマスターした技術者のみがライセンスを取得し、
すべての施工はこの技術者を擁する施工代理店が行う「責任施工システム」となっています。

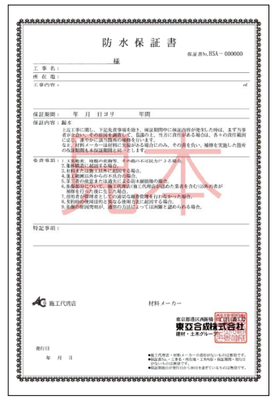


品質管理

一貫生産で安定した品質をお約束いたします。
原料のアクリル酸エステルから最終製品に至るまで、
当社で責任をもって製造しています。

防水保証書を発行しています。

メーカーおよび施工代理店連名で、新築・改修に関わらず、防水保証を実施しています。



◎アロンウオールの防水材塗膜の物性［JIS A 6021-2022（建築用塗膜防水材　外壁用）］

項目			規格値	アロンコートST測定値
引張性能	引張強さ（N/mm²）	試験時温度　23℃	1.3以上	1.8
		試験時温度　−20℃	1.3以上	5.7
		試験時温度　60℃	0.4以上	1.3
	破断時の伸び率（%）	試験時温度　23℃	300以上	400
	破断時のつかみ間の伸び率（%）	試験時温度　23℃	180以上	240
		試験時温度　−20℃	70以上	110
		試験時温度　60℃	150以上	190
引裂性能	引裂強さ（N/mm）		6.0以上	11.7
加熱伸縮性能	伸縮率（%）		−1.0以上1.0以下	−0.4
劣化処理後の引張性能	引張強さ比（%）	加熱処理	80以上	118
		促進暴露処理	80以上	95
		アルカリ処理	60以上	118
	破断時の伸び率（%）	加熱処理	200以上	334
		促進暴露処理	200以上	270
		アルカリ処理	200以上	290
伸び時の劣化状況		加熱処理	いずれの試験片にもひび割れ及び著しい変形があってはならない	異常なし
		促進暴露処理		異常なし
		オゾン処理		異常なし
付着性能	付着強さ（N/mm²）	無処理	0.7以上	1.12
		温冷繰り返し処理後	0.5以上	0.76
耐疲労性能			いずれの試験体にも塗膜の穴あき・裂け・破断があってはならない	異常なし
たれ抵抗性能		たれの長さ（mm）	いずれの試験体も3.0以下	0
		しわの発生	いずれの試験体にもあってはならない	認めない
固形分（%）			表示値±3.0	72.0

◎アロンウオール®塗膜の物性［JIS A 6909-2014「建築用仕上塗材」防水形複層塗材準拠］

項目		規格値	測定値
低温安定性		塊がなく、組成物の分離・凝集がないこと。	異常なし
初期乾燥によるひび割れ抵抗性		ひび割れが生じないこと。	異常なし
付着強さ（N/mm²）	標準状態	0.7以上	1.1
	浸水後	0.5以上	0.9
温冷繰り返し作用に対する抵抗性		試験体の表面に、はがれ、ひび割れ、膨れがなく、かつ、著しい変色および光沢低下がないこと。	異常なし
透水性（mℓ）		0.5以下	0.1以下
耐衝撃性		ひび割れ、著しい変形およびはがれを生じないこと。	異常なし
耐候性		ひび割れ、はがれがなく、変色がグレースケール3号以上であること。	異常なし 変色：グレースケール5号
伸び（%）	20℃時	120以上	390
	−10℃時	20以上	150
	浸水後	100以上	300
	加熱後	100以上	334
伸び時の劣化		剥離、反り・ねじれがなく、主材に破断およびひび割れがないこと。	異常なし

◎アロンウオール主材（アロンコートST）の性状

外観 固形分 粘度	粘稠なスラリー状 72%（樹脂分57%） 約40,000mPa･s（at.20℃）

◎アロンコートST塗膜のひび割れ追従性（実験値）

アロンコートST 塗膜のひび割れ追従性	0⇄3mm（ひび割れ幅） くり返し5,000回以上OK （6回/1分間）	塗膜厚1mm 促進耐候性試験 1,000時間後

◎アロンコートST塗膜の低温柔軟性

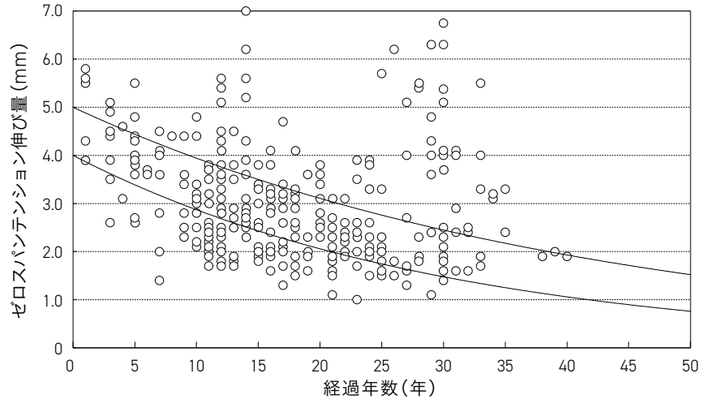
−40℃の雰囲気でも柔軟性を維持していることが証明されています。

	処理方法	温度	結果	測定方法
耐寒屈曲性	無処理	−20℃ −40℃	アロンコートST塗膜の柔軟性異常なし	72時間放置後 80°折り曲げ

◎アロンウオール施工物件の経年調査（実測データ）

▶ひび割れ追従性（ゼロスパンテンションの伸び量）

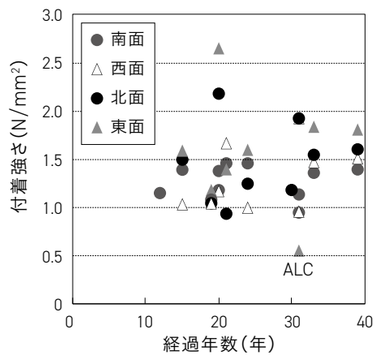
40年経過後も想定範囲の物性低下にとどまっており十分な柔軟性を保持しています。



▶付着強さ

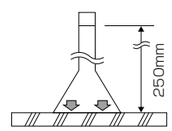
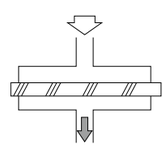
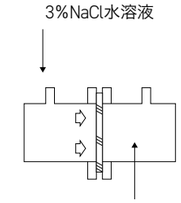
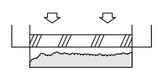
39年経過後も付着強さの低下はみられません。

オーバーレイ（かぶせ）による改修が可能です。



◎外的要因に対する遮断機能（拡散抵抗性）

▶水、空気、塩分、水蒸気に対する気密性（コンクリートとの比較）

	透水性	気密性	遮塩性（拡散係数）	透過性（水蒸気透過性）
試験法	水 	空気  真空ポンプ	3%NaCl水溶液  蒸留水	水蒸気  無水$CaCl_2$
単位	ml	$cm^3/m \cdot hr \cdot Pa$	cm^2/sec	$g/m^2 \cdot$日
アロンウオール® a	0.0	3.7×10^{-2}	1.4×10^{-11}	12.5
アロンウオール® b	0.0〜0.1	5.7×10^{-2}	5.3×10^{-11}	−
コンクリート	72	190	6.0×10^{-8}	50.4（モルタル 10mm厚）
コンクリート相当厚み	720mm	3,300−5,000mm	1,100−4,300mm	40mm
備考	——	——	——	※透湿抵抗は小さく、透湿性は良好。

アロンウオール®塗膜　a：初期状態　b：100%伸張状態　（注）相当厚み＝アロンウオール塗膜1mmに対するコンクリート厚み

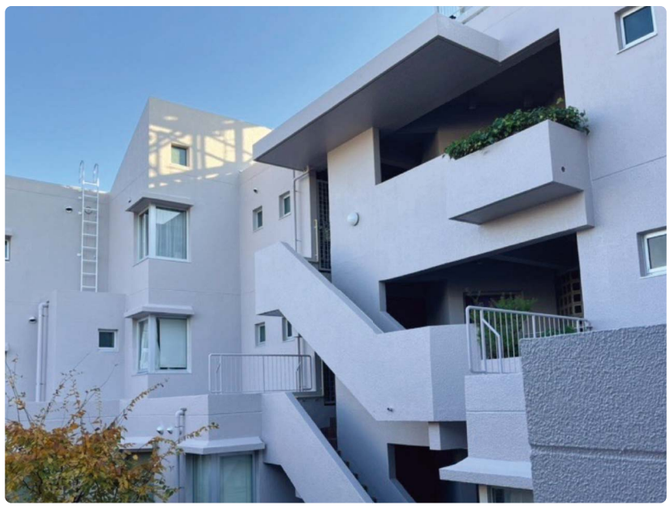
施工事例

アロンウオール®は、昭和45年6月以来50余年にわたり、全国に数多くの実績を誇っています。



▲ JAアルプス立山CEサイロ（富山県）▶





◀ ラルゴ芦花公園（東京都）



▲ 畑田小学校南棟校舎（大阪府）▼



【BEFORE】



【AFTER】



◀ 七日町パーキング（山形県）

施工事例



▲ブリヂストンタイヤ沖縄販売　社屋（沖縄県）▼

【BEFORE】



【AFTER】



大同火災久米ビル（沖縄県）▼





◀紀宝町ウミガメ公園一次避難場所 兼 備蓄倉庫（三重県）▲



小松印刷グループ（香川県）▼





施工事例



▲ 野庭団地第13住宅（神奈川県）

【BEFORE】



【AFTER】



◀ 某大学屋上ペントハウス（愛知県）▼

【BEFORE】



【AFTER】





▲ 三津整形外科・合歓の木（愛媛県）▶





◀ 立本整形外科医院（岩手県）

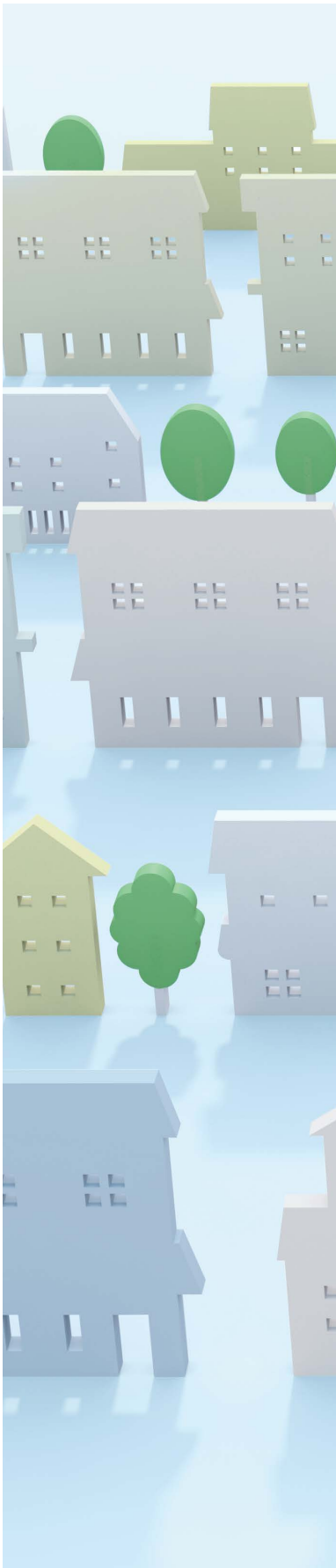
アロンウオール®工法使用材料

Ⓢ溶剤含有材料　Ⓦ弱溶剤含有材料

分類	材料名称	使用目的	外観性状	固形分	粘度	荷姿
プライマー	アロン水性 マルチプライマー	防水層と下地の接着性向上	特殊変性エポキシ樹脂 エマルション	約57%	約5,000mPa･s	16Kg/缶
	Ⓢ アロン強化 プライマー	脆弱下地に塗布、含浸させ下地強化と各種上塗材との接着性向上	特殊変性、2液反応硬化形エポキシ樹脂溶剤溶液 主剤：消、危第4類第2石油類 硬化剤：消、危第4類第1石油類	主　剤：約48% 硬化剤：約9%	主　剤：約45mPa･s 硬化剤：約3mPa･s	主剤＋硬化剤 8.2Kg/缶＋6.8Kg/缶＝ 15Kg/セット
	Ⓦ アロンMD防錆 プライマー	鋼板の防せいおよび 各種上塗材との接着性向上	主：赤錆色防錆顔料分散樹脂溶液 消、危第4類第2石油類 硬：黄褐色透明液体 消、危第4類第2石油類	主　剤：約71% 硬化剤：約25%	主　剤：約 15,750mPa･s 硬化剤：約13mPa･s	主剤＋硬化剤 14Kg/缶+2Kg/缶=16Kg/ セット
	Ⓦ アロンMD防錆プライマー用シンナー	アロンMD防錆プライマーの希釈	無色透明液体	——	——	16L/缶、4L/缶
防水材	アロンコートST	外壁の防水材 および模様付け	アクリルゴムエマルション粘稠な スラリー状材料	約72%	約40,000mPa･s	18Kg/缶
下塗防水材	アロンコートSX	NEO工法専用防水材	アクリルゴムエマルション粘稠な スラリー状材料	約72%	約30,000mPa･s	18Kg/缶
下地調整材	アロンコートSB 粘度調整剤	増塗材「アロンコートSB」調合用 薬剤	乳白色液体	約21%	約3,500mPa･s	1L/箱
下地挙動 緩衝材	アロンウオールSH	ひび割れ部に塗布しその緩衝作用 により防水材の下地挙動に対する 追従性向上	アクリルゴムエマルション粘稠な スラリー状材料	約72%	約45,000mPa･s	18Kg/缶、6Kg/缶
防カビ材	防カビ用添加剤	防水材への防カビ性能付与	白色液体	約15%	約10mPa･s	100g×6本/1箱
模様材	アロンコートER リシン （リシン仕上用）	アロンコート®ERリシンベース	アクリル樹脂エマルション粘稠な スラリー状	約60%	約9,500mPa･s	20Kg/缶
		寒水砂（5厘目および3厘目、市販品）	——	——	——	
	アロンコートER リシン （ジュラク仕上用）	アロンコート®ERリシンベース	アクリル樹脂エマルション粘稠な スラリー状	約60%	約9,500mPa･s	20Kg/缶
		6号けい砂（市販品）	——	——	——	
	アロンウオールMS［下塗用］	石調模様付け	骨材入水系 アクリルシリコン樹脂ペースト	——	——	20Kg/缶
	アロンウオールMS［上塗用］	石調模様付け	骨材入水系 アクリルシリコン樹脂ペースト	——	——	20Kg/缶
	アロンウオール 漆喰ベース	漆喰調模様付け	アクリル樹脂系漆喰用模様材	約58%	10,000～18,000mPa･s	20Kg/缶
	アロンウオール 漆喰フィラー	漆喰調模様付け	アクリル樹脂系漆喰用模様材	——	——	20kg/袋
仕上塗料	アロン水性 スーパーカラーSi	防水層の化粧、表面保護 および汚染防止	低汚染･水性 アクリルシリコン樹脂エマルション塗料	約54%	約5,000mPa･s	15Kg/缶,4Kg/缶
	アロン水性（DX） スーパーカラー	防水層の化粧、表面保護 および汚染防止	水系アクリルウレタン樹脂エマルション 塗料	約50%	約5,000mPa･s	16Kg/缶,4Kg/缶
	アロン水性 スーパーカラーF ［下塗用］	防水層の化粧・表面保護 および汚染防止	水性アクリルシリコン 樹脂エマルション	53.5%	約5,000	15kg/4kg缶
	アロン水性 スーパーカラーF ［上塗用］	防水層の化粧・表面保護 および汚染防止	フッ素樹脂エマルション	53.8%	約9,000	15kg/4kg缶
	アロン水性カラー	防水層の化粧、表面保護 および汚染防止	水系アクリル樹脂エマルション塗料	約50%	約5,000mPa･s	16Kg/缶,4kg/缶
	アロンHSカラー Si-1000	防水層の化粧、表面保護 および汚染防止	低汚染アクリルシリコン樹脂 エマルション塗料	約59%	約5,000mPa･s	15Kg/缶
	Ⓦ アロンHSカラー Si-3000	防水層の化粧、表面保護 および汚染防止	低汚染･2液反応硬化形弱溶剤系 アクリルシリコン樹脂塗料 主剤：消、危第4類第2石油類 硬化剤：消、危第4類第2石油類	主　剤：約70% 硬化剤：約80%	主　剤：6,500mPa･s 硬化剤：約100mPa･s	主剤＋硬化剤 14Kg/缶＋2Kg/缶=16Kg/ セット
	Ⓦ アロンHSカラー Si-3000用シンナー	アロンHSカラーSi-3000の希釈	無色透明な芳香族系有機溶剤溶液 消、危第4類第2石油類	——	——	13Kg/缶
	Ⓦ アロンMDカラーU	防水層の化粧、表面保護 および汚染防止	低汚染･2液反応硬化形弱溶剤系 アクリルウレタン樹脂塗料 主剤：消、危第4類第2石油類 硬化剤：消、危第4類第2石油類	主　剤：約 60.5% 硬化剤：約50%	主　剤：3,800mPa･s 硬化剤：約10mPa･s	主剤＋硬化剤 12Kg/缶＋2Kg/缶=14Kg/ セット 3Kg/缶＋0.5Kg/缶＝ 3.5Kg/セット
	Ⓦ アロンMDカラーU 用シンナー	アロンMDカラーUの希釈	無色透明な芳香族系有機溶剤溶液 消、危第4類第2石油類	——	——	12.8Kg/缶 3.2Kg/缶
	Ⓦ アロンMDカラーSi	防水層の化粧、表面保護 および汚染防止	低汚染･2液反応硬化形 弱溶剤系アクリルシリコン樹脂塗料 主剤：消、危第4類第2石油類 硬化剤：消、危第4類第2石油類	主　剤：約56% 硬化剤：約54%	主　剤：1,300mPa･s 硬化剤：約30mPa･s	主剤＋硬化剤 12Kg/缶＋3Kg/缶＝15Kg/ セット 4Kg/缶＋1Kg/缶=5Kg/ セット
	Ⓦ アロンMDカラーSi 用シンナー	アロンMDカラーSiの希釈	無色透明な芳香族系有機溶剤溶液 W：消、危第4類第1石油類 S：消、危第4類第2石油類	——	——	13Kg/缶 3Kg/缶

分類	材料名称	使用目的	外観性状	固形分	粘度	荷姿
仕上塗料	Ⓢ アロンウオールFC（DX）Aカラー	防水層の化粧、表面保護 および汚染防止	2液反応硬化形アクリル ウレタン樹脂塗料 主剤：消、危第4類第1石油類 硬化剤：消、危第4類第1石油類	主　剤：約63% 硬化剤：約29%	主　剤：2,200mPa･s 硬化剤：約20mPa･s	主剤＋硬化剤 12Kg/缶＋3Kg/缶＝15Kg/ セット 4Kg/缶＋1Kg/缶=5Kg/ セット
	Ⓢ アロンウオールFC（DX）Aカラー用シンナー	FC（DX）Aカラーの希釈	無色透明な芳香族系 有機溶剤溶液 消、危第4類第1石油類	——	——	14Kg/缶 3.5Kg/缶
	Ⓢ アロンウオールFC（DX） スーパーカラー	防水層の化粧、表面保護 および汚染防止	2液反応硬化形アクリルウレタン樹脂塗料 主剤：消、危第4類第1石油類 硬化剤：消、危第4類第1石油類	主　剤：約60% 硬化剤：約53%	主　剤：2,500mPa･s 硬化剤：約80mPa･s	主剤＋硬化剤 12Kg/缶＋4Kg/缶=16Kg/ セット 3Kg/缶＋1Kg/缶=4Kg/ セット
	Ⓢ アロンウオールFC（DX）スーパーカラー用シンナー	アロンウオール®FC（DX） スーパーカラーの希釈	無色透明な芳香族系有機溶剤溶液 消、危第4類第1石油類	——	——	14Kg/缶 3.5Kg/缶
	Ⓢ アロンウオール シリコンFC（DX）カラー	防水層の化粧、表面保護 および汚染防止	2液反応硬化形弾性アクリル シリコン樹脂塗料 主剤：消、危第4類第1石油類 硬化剤：消、危第4類第1石油類	主　剤：約63% 硬化剤：約70%	主　剤：2,500mPa･s 硬化剤：約100mPa･s	主剤＋硬化剤 10Kg/缶＋5Kg/缶=15Kg/ セット 4Kg/缶＋2Kg/缶=6Kg/ セット
	Ⓢ アロンウオール シリコンFC（DX）カラー用シンナー	シリコンFC（DX）カラーの希釈	無色透明な芳香族系有機溶剤溶液 消、危第4類第1石油類	——	——	14Kg/缶 3.5Kg/缶
	アロンウオールMS 水性クリヤー	防水層の化粧、表面保護 および汚染防止	水系アクリルシリコン樹脂クリヤー 塗料（3分艶）	——	——	15Kg/缶
消泡剤	アロンウオール STM工法用添加剤	アロンコート®STに添加してSTM工法模様塗りの際の消泡と表面乾燥抑制	消泡剤および乾燥遅延剤の水性混合溶液 （静止すると2層分離）	アロンコート®ST18Kg/缶当たり容器1目盛り（100mℓ）添加		1,000mℓ/PE容器 3本/箱
シーリング材	アロンシーラント PU-1N	目地、役物回りなどの縁防水	湿気硬化形ノンブリード、1成分形 ポリウレタンシーリング材	約90%	——	320mℓカートリッジ 10本/段ボール箱
下地処理用 埋戻し材	アロンカチオク リートベース	30～50mm深さの欠損やはつり跡に1回の塗りつけで埋め戻す	カチオン性アクリル樹脂エマルション	約45%	約15mPa･s	16Kg/缶
	アロンカチオク リートフィラーF-K		特殊速硬化セメント繊維および特殊軽量 骨材入り既調合セメントフィラー	——	——	15Kg/袋
下地処理材	アロンカチオク リートベース	下記既調合粉体（フィラー）と混ぜ、アロンカチオクリートとして各種下地修正、修復に使用	カチオン性アクリル樹脂エマルション	約45%	約15mPa･s	16Kg/缶
	アロンカチオク リートフィラー	上記液体（ベース）と混ぜ、アロンカチオクリートとして各種下地修正、修復に使用	セメントおよび珪砂その他からなる 既調合灰白色セメントフィラー （F-0, F-1, F-2, F-3 ※1）	——	——	20Kg/クラフト袋
ピンニング材	アロン ケミカルピン	モルタルなどの浮き固定剥落防止用の速硬性樹脂アンカーシステム（カプセル）	不飽和ポリエステル樹脂系接着剤	——		50L、60L：250セット （カプセル250本、 ボルト250本）/箱 100L：150セット （カプセル300本、 ボルト150本）/箱
			ガラス製２重管入り			
			50L：黄色 長さ50mm			
			60L：青色 長さ60mm			
			100L：黄色 長さ50mm 2本使用			
		アロンケミカルピン（カプセル）用のボルト（ボルト）	ステンレス製十字穴付皿頭ボルト	——		
			50LΦ5.3×50mm			
			60LΦ5.3×60mm			
			100LΦ5.3×100mm			
		アロンACC・ピン・ネット剥落防止工法用アロンケミカルピン用ワッシャー（ワッシャー）	直径……Φ32 厚み……0.6mm	——	——	250枚
着色剤	アロンコート用 水性着色剤　黒	アロンコートSTに添加しMS工法防水材として使用	黒顔料水分散液	28～36%		145g×1本/箱
補強布	アロンPPメッシュ	アロンウオール・ピン・ネット剥落防止工法用補強材	ポリプロピレン繊維製ネット 厚み0.5mm、 密度10×20（本/25mm） 目付100g/m²	——	——	幅1,000㎜ 長さ100m/巻
	ビニロン繊維製 ネット	アロンACC・ピン・ネット剥落防止工法用補強材	ビニロン繊維製ネット 目開き0.67本/cm	——	——	幅1,100mm 長さ100m/巻（VK-0707）
	アロンメッシュ	防水層の強度を高め、下地の動きに対する追従性向上	ポリエステル繊維メッシュ 幅1,040mm、長さ50m	——	——	1巻/箱
						2巻/箱
目地材	アロンウオールMS 工法用目地棒	デザイン目地の現出 （両端突き合わせ）	両面（二重）離型紙付き ポリエチレンシート （幅：7mm、25mm、長さ1,000mm）	——	——	200本/箱
目地テープ	粘着テープ	目地補充用	幅8mm布製粘着テープ25m/巻	——	——	（一般市販品）
注入材	コニシ（株） ボンドE-シリーズ	主剤と硬化剤を混ぜ注入材としてクラック、浮きの注入に	2液反応硬化形エポキシ樹脂	——	——	（一般市販品）

※1：アロンカチオクリートF-3は、鉄筋の防錆処理にも使用できます。
＊仕上塗料の性状値は、白を基準に記載しています。
＊溶剤系仕上塗料とシンナーの希釈比率は、工法によって希釈量が異なりますので、別途テクニカルインフォメーションをご覧ください。



TOAGOSEI グループ

販売部門

あした、多彩に。 アロン化成

東日本支店　〒105-0003 東京都港区西新橋2-8-6　TEL 03(3597)7342[ダイヤルイン]
中日本支店　〒460-0003 名古屋市中区錦1-4-6　TEL 052(209)8594[ダイヤルイン]
西日本支店　〒530-0005 大阪市北区中之島3-3-3　TEL 06(6446)6568[ダイヤルイン]
福 岡 支 店　〒810-0001 福岡市中央区天神4-1-1　TEL 092(687)1415[ダイヤルイン]
札幌営業所　〒060-0004 札幌市中央区北4条西4-1-7　TEL 011(804)8614[代表]

www.aronkasei.co.jp

東亞合成株式会社
建材・土木グループ

0120-557-947 （フリーダイヤル）

www.toagosei.co.jp